



# ほけんだより

令和8年5月  
学校法人織田学園  
おだ認定こども園

4月の感染症：インフルエンザA・B、新型コロナ、溶連菌感染症、胃腸炎他

## ◎虫よけ対策のお願い◎

園では、ため水除去や植栽整備を行っていますが、虫刺されを100%防ぐことは困難です。そこで、登園時は、ご家庭で虫よけ剤をつけてから登園していただくようお願いしています。

### ●3・4・5歳児

- ・シール型の使用可能（においに配慮して下さい）。
- ・園外保育時の虫よけ対策は、別途学年からおたよりが配布されますので、ご確認ください。

### ●0・1・2歳児

- ・シール型は使用不可（誤食・誤飲の危険のため）。

### ●全学年共通で使用できないもの

- ・輪ゴム・リング型（多くは雑貨、転倒誤飲の危険、効果が不十分な場合が多い）、電池・充電式不可



## ◎虫よけ成分の種類

成分を知って、使い分けましょう！

- ◎ディート：乳幼児使用回数制限あり。濃度で効果時間が変わる。
- ◎イカリジン：使用制限く効果が長い乳幼児も使用可能。



## ◎5月から始めよう◎

### 「暑熱順化（しょねつじゅんか）」

暑さが本格化する前に、「汗をかけるからだ」づくりを始めましょう。体が暑さに慣れていない時期は、特に注意が必要です。

### ●熱中症が起きやすい条件

- ・突然気温が上がった日
- ・梅雨の晴れ間や、湿度が高い日
- ・風が弱い日、日差しが強い日

### ●お家でできる「汗活」と予防策

- ・入浴：『汗をかく経験』に効果あり！ぬるめのお湯で、じわりと汗ばむまで湯船につかる。
- ・服そう：薄着を心がけます。汗を吸い風通しの良い素材を選び『体に熱をこもらせない』
- ・水分：こまめに補給。乳幼児が「顔が赤い」「ひどく汗をかいている」時は多めに与え、涼しい場所で休ませてください。



### 『保育園に、元気に通うための健康ガイドブック』

感染症の登園基準では、流行に注意が必要な「麻しん（はしか）」の症状なども説明しています。

## 『発熱と発疹がある』時の受診について

2026年4月時点で、はしか（麻しん）の患者報告数が全国で急増しています。初期症状は風邪と同じで見分けが付きません。ただし「発熱」と「発疹」の両方が見られる時は、受診時に注意が必要です。

### ●まずは「電話」を！

- ・事前に小児科へ電話し「熱と発疹がある」ことを伝えてください。
- ・病院指定の時間や入り口・ルートに従ってください。
- ・移動の際は電車やバスを避け、自家用車や徒歩で受診と指示される場合があります。

## おしらせ

### ◎手洗いは「一生もの」の習慣◎

『手洗い』は、自分や友達の健康を守る第一歩として、こども達に繰り返し伝えていきます。

★タイミング：朝園に来た時／外から帰った後／トイレ後／食事の前と後

### ★お知らせ：

園で掲示している「手洗いうたポスター」は、ホームページからダウンロードできます。ご家庭でもご活用ください！

